

## 平成 29 年度人権学習推進者の学習プログラム作成講座開催要項

### 1. 目的

日野町の超高齢化社会の到来に対応するため、高齢者の社会参加が不可欠となります。「助け合い体験ゲーム」により高齢者のやる気や自尊心の向上に向け、人権学習推進者が参加型学習の特徴を理解し、プログラム作成や小地域座談会等学習会の運営に必要な、企画力と技能向上を身につけるプログラム作成講座を開催します。

### 2. 講座の内容

「助け合い体験ゲーム」を使用して、個人の出来ること（気づき）を促し、『相互扶助により、地域で助け合う仕組みの構築プログラム』を模擬実践する。

### 3. 時間割

種別		9:30～12:00 (途中休憩) 第 1 回目	13:30～16:00 (途中休憩) 第 2 回目
実践コース	半日	1：学びの場の基盤整備 △開講式 (5分) △方針説明・アイスブレイク (20分) 2：実践講座 (45分) △カードゲームの目的と手法につき、説明。「個人の出来ること」気づきを求める —— 休憩 —— (10分) △カードゲーム体験 (35分) 3：振り返り (10分) △ミニワーク 指摘：コメント △閉講式 (5分)	1：学びの場の基盤整備 △開講式 (5分) △方針説明・アイスブレイク (20分) 2：実践講座 (45分) △カードゲームの目的と手法につき、説明。「個人の出来ること」気づきを求める —— 休憩 —— (10分) △カードゲーム体験 (35分) 3：振り返り (10分) △ミニワーク 指摘：コメント △閉講式 (5分)

### 4. 日程

第 1 回目 (午前の部)	第 2 回目 (午後の部)
8月24日 (木) 9:30～12:00	8月24日 (木) 13:30～16:00

※参加者はどちらかに参加する。

### 5. 会場

日野町役場庁舎 2階 (大会議室)

### 6. 募集

参加対象者は、平成 29 年度日野町小地域座談会推進員。

特に、中堅の職員（小地域座談会の構成を担当する職員等）の参加を

7. 参加申込

平成29年8月18日（金）までに、別途申込書を日野町人権センターに届けてください。

8. 参加者の費用負担

（受講料）無料

（その他）会場までの交通費は参加者でご負担ください。

9. その他

主催／事務局

この講座の講師は公益財団法人 さわやか福祉財団及び町健康福祉課 高齢者福祉担当並び町人権センター職員があたる。

この講座は日野町及び日野町人権・同和教育推進協議会が共催する。

この講座の事務局は日野町人権センターがあたる。

(問い合わせ) 日野町人権センター 中田・西村  
電話番号 0859-72-2107 (教育委員会事務局内)

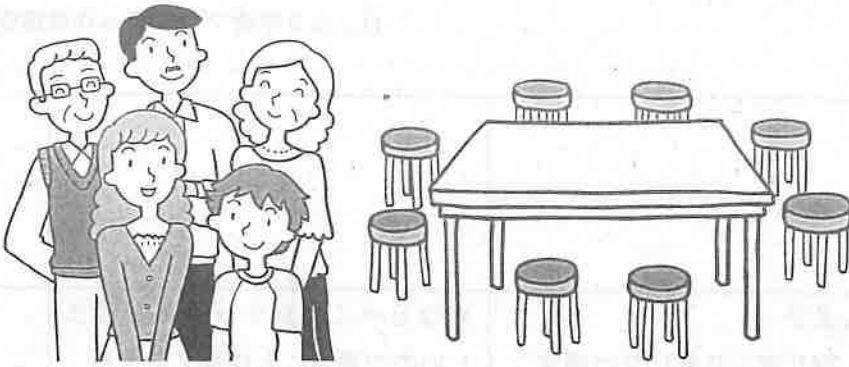
## 小地域座談会プログラム例 【助け合い体験カードゲーム】

H. 29年度プログラム作成講座

開会の挨拶 推進員紹介 趣旨説明等 本日の日程			
グループ分け	1グループ5～10人まで (バースデイライン・割り箸くじ等) 又は適宜	*なるべく男女ミックスが望ましいので適当に入れ替えをする	
助け合い体験 カードゲーム	<p>テーブルにカードを広げる。ゲームのやり方を説明する。</p> <p>自分が助けてほしいと思う事のカードを3枚選ぶ。全員が取り終えたら順番に、自分のカードを見せながら「誰かこれをしてくれませんか？」とお願いをする。 →</p> <p>交渉成立したらみんなで拍手する。交渉不成立ならカードを裏返しにして自分の所に置く。次の人も同じことをしていく。</p> <p>グループ全員がすんだら……</p> <p>○多くカードを持った人は助け上手。みんなで拍手をしてあげましょう。</p> <p>◎逆にカードの無い人は助けられ上手？ その人も拍手をしてあげましょう。 →</p>	<p>※ゲームを始める前の注意事項 「これはゲームです。“実際にしなくてはいけない”ことは無いので気軽に楽しんで進めましょう」と念をおす。</p> <p>※手伝ってくれる人がいなければ頼み方を工夫してみる。</p> <p>例：これをしてくれたら、あなたの……をしてあげる。など色々な手段を使って交渉する。</p> <p>カードをかたづける</p>	30分 ～ 40分
	<p>全グループが終了したのを確認後</p> <p>☆「助けて」というのは難しいことです。このカードゲームをとおして「助けて」と言える事の大切さ、むずかしさ、楽しさを体験してもらいました。</p> <p>せっかく地区の人が集まる良い機会ですので、何かみなさんの生活で困っていること、その中で地域の人たちで解決できることはないか話し合っただけいたらと思います。</p> <p>あまり意見交換ができていなかったらこれで終了。</p>	模造紙、付箋が必要であれば人権センターが準備	
まとめ	まとめ及びアンケート記入のお願い		
閉会			

どんなことが助けてもらえやすいのか、助けてもらえにくいのか発表してもらおうのもいいかも。  
適当にアレンジしてやってみてください。

手順 1 年齢・男女ミックスしてグループ分け・着席



手順 2 カードを広げる・それぞれ3枚ずつ選ぶ



手順 3 カードをもとに「交渉」する



手順 4 グループ内で「話し合う」



第1部 進行表  
「近隣 助け合い体験」

グループごとにテーブルを囲んで「口」の字に席します。

テーブルごとにカードを広げ、その中から自分がしてもらいたいカードを指定された枚数選びます。

3枚選べたら、自分が選んだカードを見せながら、その内容をしてくれる人を探し、交渉します。

第1部を通して感じたこと、気づいたことなどを出しあい、グループ内で話し合いをします。

## 平成29年度 野田・舟場小地域座談会日程

日 時：平成30年 3月4・18日（日）  
午前10時00分～

場 所：野田みちくさの館・舟場コミュニティセンター

### 1. 開 会

2. 挨拶&アイスブレイキング(簡単なゲームによるリラックスタイム)  
進行役（コーディネーター）挨拶  
アイスブレイキング（バースディラインで組分け&推進  
委員及び参加者自己紹介を兼ねて） 約15分

3. 人権学習プログラム（「助け合い体験ゲーム」）  
・今日のテーマ：『お互いを大切にしたい暮らしやすい地域社会  
の実現を目指して』 約45分  
・テーブルごとにカードの中から自分のしてもらいたいことを同じグル  
ープの方に交渉（ゲーム感覚で気軽に・・・）

4. 「地区の気になること」探し 約25分

- ・付箋紙に地域の気になること（自分が助けてほしいこと等）を記入
- ・グループ内検討

5. 総 括（コーディネーター） 約 5分

### 6. 閉 会

平成29年度 人権学習プログラム(小地域座談会)進行表 (「助け合い体験カードゲーム」)

a.司会者(コーディネーター)挨拶【15分程度】

アイスブレイキング{各種準備・グループ分け&自己紹介も兼ねて(バースディライン等)}  
その場で(各班に分かれて)、自己紹介する。各班で、役割{推進員が各班に分かれるよう配慮、進行係・記録係・発表係等(推進員)}を決める。

b.「助け合い体験カードゲーム」【45分程度】

- 1) 司会者:「助け合い体験カードゲーム」の説明。テーブルごとにカードを広げ、その中から自分がして貰いたい(困っている)ことのカードを3枚選ぶ。順番に困っていることを説明し、助けてくれる方があれば、そのカードを受けとり、助けてくれる方が無ければ、カードを裏返し、自分の手元に置く。これを3回繰り返す。
- 2) 各グループで、感じたこと、気付いたことを話し合う。ゲームを通じて、気軽に「助けてと言える」人間関係をつくる。
- 3) 全体で、一番多くカードを持っている方を「助け上手」、一番少ないカードの方を「助けられ上手」として、全体で拍手を促す。

c.「地区の気になること」探し【25分程度】

- 1) 個人作業(付箋紙に地域の気になるところを書き出す。{量より質、どんな些細なことでも OK: ①自分たちでできそう(青の付箋紙)②協力があればできそう(黄の付箋紙)③行政にお願いする(桃の付箋紙)に分けて記入・・・推進員の手助けも必要)
- 2) グループ内で発表  
個人作業で書いたことを発表。
- 3) グループ内で検討  
記録係(推進員)は、区分わけを皆で検討し、同じ意見を纏める。模造紙に纏めた意見を記入する。(付箋紙を囲み、代表的な意見をその周りに記載)
- 4) 「全体発表」  
各班の発表者(記録者が兼ても OK)は、グループの意見を発表する。  
コーディネーターは、各班の意見を記した紙を貼り、復唱する。(進出地区の状況で変更)

d.総括【5分程度】

コーディネーターの挨拶(お疲れ様でした)。アンケートの記入依頼「手法・時期など」

【準備品】

「助け合い体験カード」3セット、模造紙 3枚(各色マジック含む)、  
付箋紙 3箱(青色・黄色・桃色 各1箱)、筆記用具(3色ボールペン等)